

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

平成26年6月30日

兵庫県知事 殿

提出者

住 所 兵庫県神埼郡福崎町高橋290-28

氏 名 株式会社マングラム福崎工場

執行役員工場長 渡辺 浩一

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0790-22-5361

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社マングラム福崎工場
事業場の所在地	兵庫県福崎町高橋290-28
計画期間	平成26年4月1日 ~ 平成27年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	1662 頭髪用化粧品製造業
②事業の規模	製品出荷額 4,154,248万円 (平成25年度実績)
③従業員数	348人 (平成26年4月1日現在)
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項		
(管理体制図)		
別氏のとおり		
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項		
①現状	【前年度（25年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり
	排出量	t
	(これまでに実施した取組) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 洗浄工程での廃液削減（高圧洗浄機活用）</li> <li>・ 中味製造工程と充填時の中味ロス削減を実施。</li> <li>・ 中味製造時の秤量トラブルによる中味不良抑制のための手順の整備とオペレーターへの教育訓練の実施</li> <li>・ 生産ラインでの工程不良を削減する為のライン切替精度の向上を図るための切替標準書の作成とオペレーターへの教育訓練の実施。</li> <li>・ プラスチック類について分別することで有価物としての処理を実施。</li> <li>・ 廃液の排出方法の変更 洗浄工程の作業手順</li> <li>・ 一部の商品は、梱包する箱をなくし、不良材料廃棄を抑制。</li> <li>・ 材料の在庫保管量を減らし、未使用材料の廃棄量を抑制。</li> </ul>	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり
	排出量	t
	(今後実施する予定の取組) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 廃水処理施設の安定稼働による洗浄廃液の外部処理委託の排出物数量を削減する。</li> </ul>	
産業廃棄物の分別に関する事項		
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 排出物管理手順に基き、廃油・汚泥・廃酸・廃アルカリ・廃プラスチック類・ガラスくずなど分別廃プラスチック類の細分類により、サーマルからマテリアルリサイクルが出来るものを増やす。</li> </ul>	
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 混合物を出来るだけ分解することで再資源物と廃棄物を分別する。</li> </ul>	

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（25年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・製品のサンプル容器（透明瓶）において使用后中味を回収し容器を洗浄機で洗浄、乾燥させ再使用。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・過去の取り組みを継続していく。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（25年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量		t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組) 特になし			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組) ・水処理場の脱水機をオーバーホールし、含水率を下げる。			

## (第4面)

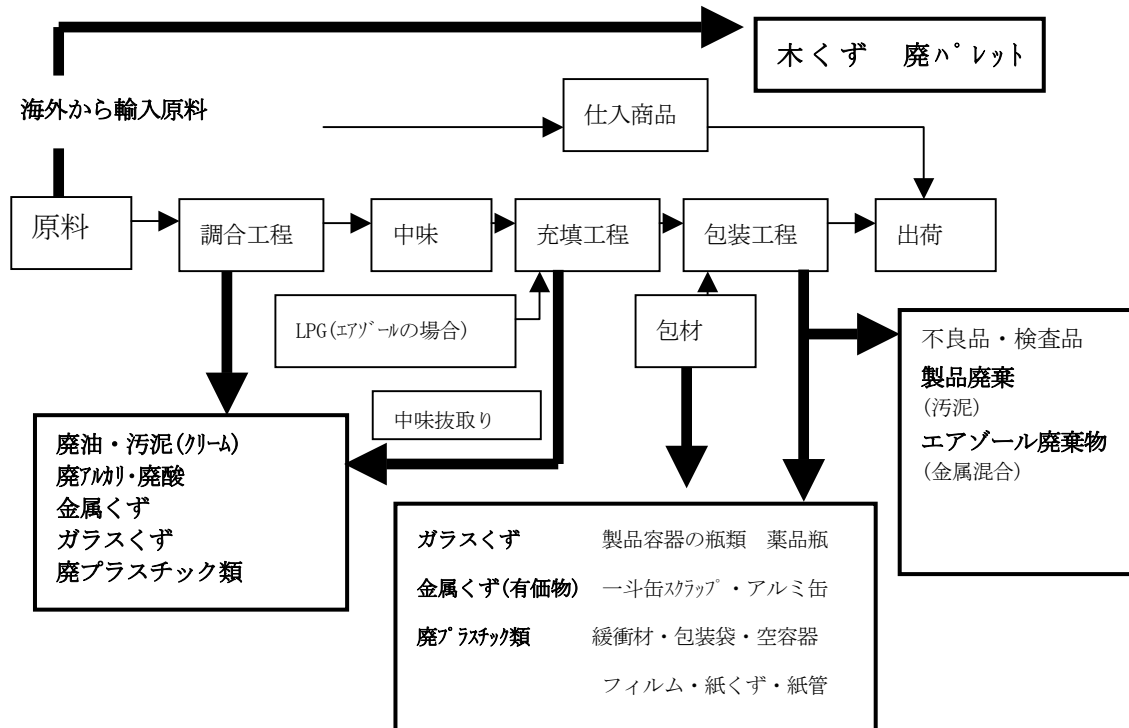
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項		
①現状	【前年度（25年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	別紙のとおり t
	(これまでに実施した取組) 特になし	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	別紙のとおり t
	(今後実施する予定の取組) 特になし	
産業廃棄物の処理の委託に関する事項		
①現状	【前年度（25年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t 別紙のとおり
	再生利用業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
	(これまでに実施した取組) <ul style="list-style-type: none"> <li>・焼却埋立てになっていた製品の一部を熱回収処理に変更。</li> <li>・残渣をセメント原料としてリサイクル</li> <li>・廃プラスチック類のRPF処理</li> <li>・廃プラスチック類のプラスチック原料化処理</li> </ul>	

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	別紙のとおり	
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き優良認定処理業者への委託量を推進していく。</li> <li>・</li> </ul>			
※事務処理欄			

備考

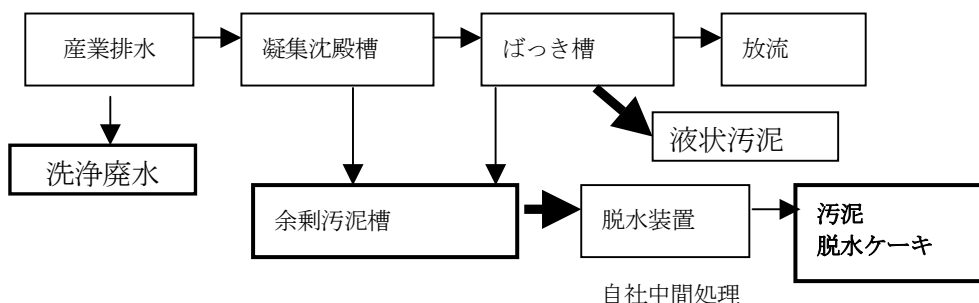
- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の一連の処理工程



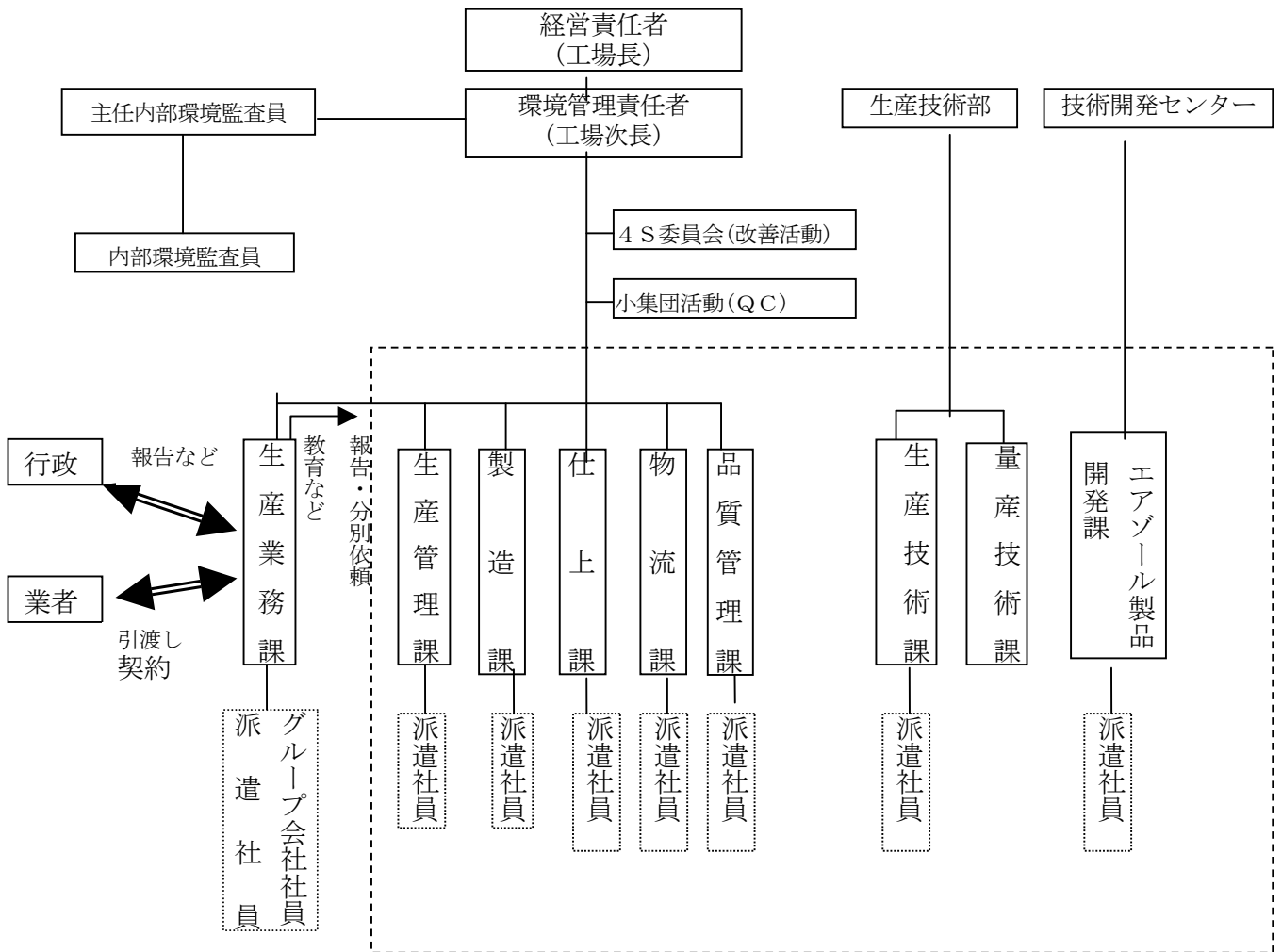
不要備品など 安定型混合廃棄物(粗大ゴミ)

排水処理工程 フローシート 2)



①廃油	・・・	収集運搬 (ダイトキ・針谷商店) → エマルジョン燃料化	〈ダイトキ〉	燃料として販売
		油水分離	〈ダイトキ〉	廃水処理
②汚泥	・・・	収集運搬 (西播通運) → 燃料化处理	〈アマタ〉	燃料として販売
		収集運搬 (西播通運) → 原料化处理	〈アマタ〉	原料として販売
		収集運搬 (大栄環境) → 焼却・溶融	〈クリーンステージ〉	熱回収とセメント原料
		収集運搬 (ダイトキ・針谷商店) → 乾燥	〈ダイトキ〉	原料として販売
		収集運搬 (ダイトキ・針谷商店) → 脱水	〈ダイトキ〉	原料として販売
③金属くず	・・・	収集運搬 日本通運・日本貨物鉄道 → 破碎	〈新菱〉	再生鉄・燃料
		収集運搬 (体ギキ) → 圧縮・切断	〈体ギキ〉	再生鉄にリサイクル
④廃アルカリ	・・・	収集運搬 (ダイトキ・針谷商店) → 中和	〈ダイトキ〉	原料として販売
		収集運搬 (日野物流) → 燃料化处理	〈アマタ〉	燃料として販売
④廃酸	・・・	収集運搬 (西部サービス) → 混合調整処理	〈サノ技研〉	燃料として販売
⑤木くず(パレット)	・・・	収集運搬 (睦商興) → 破碎	〈ハリマ産業エコテック〉	燃料として販売
⑥廃プラスチック類	・・・	収集運搬 (西部サービス) → 破碎・減容固化	〈西部サービス〉	燃料として販売
		収集運搬 (川瀬産業) → 破碎・減容固化再資源化	〈川瀬産業〉	再生原料として販売
⑦ガラスくず	・・・	収集運搬 (西部サービス) → 破碎・選別	〈日進興業〉	原料として販売

## 管理体制図



### 生産業務課の業務

- ① 廃棄物発生状況の把握・排出量管理・廃棄物の保管管理・廃棄物抑制の各部署との調整
- ② 工場内の廃棄物処理計画等の策定、部門間の調整、行政への報告
- ③ 処理委託業者の選定・廃棄物処理委託契約書の手続き・廃棄物引渡し立会い・処理工程確認
- ④ 教育・訓練の実施・計画

### 各課の担当

- ① IS014001 の取組み
- ② 廃棄物の分別の徹底・教育
- ③ 廃棄物発生の抑制対策・改善
- ④ 小集団活動(QC)の取組み



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【現状 前年度（平成25年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃プラスチック類	ガラスくず	廃アルカリ	金属くず	安定型混合廃棄物	木くず
排出量	1753t	1379t	6t	179t	2t	18t	27t	15t	2t

【計画 目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃プラスチック類	ガラスくず	廃アルカリ	金属くず	安定型混合廃棄物	木くず
排出量	1700t	1200t	10t	160t	4t	12t	25t	7t	2t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【現状 前年度（平成25年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃プラスチック類	ガラスくず	廃アルカリ	金属くず	安定型混合廃棄物	木くず
自ら再生利用を行った量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t

【計画 目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃プラスチック類	ガラスくず	廃アルカリ	金属くず	安定型混合廃棄物	木くず
自ら再生利用を行った量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【現状 前年度（平成25年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃プラスチック類	ガラスくず	廃アルカリ	金属くず	安定型混合廃棄物	木くず
自ら熱回収を行った量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
自ら中間処理により減量した量	1170t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t

【計画 目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃プラスチック類	ガラスくず	廃アルカリ	金属くず	安定型混合廃棄物	木くず
自ら熱回収を行った量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
自ら中間処理により減量した量	1000t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

